

令和 7 年度 第 2 回富里市行政改革推進審議会
会 議 錄

〔日時〕 令和 7 年 10 月 7 日 (火)

14:30 ~ 15:10

〔場所〕 すこやかセンター会議室 1

○出席者（順不同）

（委 員） 寒郡茂樹会長、町田弘副会長、本槻幸子委員、石川賢治委員

（事務局） 竹本企画財政部長、山崎経営戦略課長、須永課長補佐、
　　粕谷主査、小澤主査

（傍聴者） なし

○次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

　　第 1 次政策実行計画事業（令和 6 年度）の外部評価について

4 その他

5 閉会

○配布資料

・会議次第

・資料 1 「評価方法について」

・資料 2 「第 1 次政策実行計画事業（令和 6 年度）事業概要及び自己評価
シート」

・資料 3 外部評価シート

会議録

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

第1次政策実行計画事業(令和6年度)の外部評価について

【会長】

- ・事務局から前回の審議会での意見についての説明を求める。

【事務局】

- ・パブリックコメントに関する御意見については、現在、計画等の策定過程において、全庁体制で骨子案や素案に対する意見集約を行うとともに、審議会や策定委員会等で御意見をいただいているほか、計画によつては市民アンケートの実施や、骨子案の段階から議会への説明を行うなど、複数の視点や市民参画のプロセスを経ている。このような過程を経てパブリックコメントを実施しているため、市としては現状の体制で可能な限りの手は尽くしていると御理解いただきたい。
- また、周知に関しては、市公式LINEでの周知について、実施に向けて調整を図っていく。
- ・給食費の児童手当からの徴収については、強制徴収ではなく保護者からの申し出があった場合に行つてはいるもので、今後も徴収率のアップにつなげる一つの方法として丁寧に取り組んでいく。
- ・市民税県民税のオンラインによる申告については、企画財政部課税課に確認したところ、地方税共同機構が運営する「地方税ポータルシステム」とマイナポータルを活用した「ぴったりサービス」を利用して、令和8年2月から始まる住民税申告において、オンラインによる申告ができるよう準備を進めているとのことである。今後、実施に関しては、市ホームページや広報とみさと等で案内することであった。
- ・消防の広域化については、「千葉県消防広域化推進計画」に基づき、広域行政を担う県が主体となり、印旛地域の消防広域化を推進するため令和3年度から協議を重ねている。今後も引き続き協議を行うことで合意しているが、具体化には至っていない状況である。

- ・職員の定数管理職員の定数につきましては、条例により定数を定めており、「富里市定員適正化計画」を定め、職員の採用計画を含め、職員定員の適正化を図っている。今後、様々な行政課題や市民ニーズの多様化に対して、柔軟かつ的確な対応が一層求められることから、事務の効率化などの推進を図るとともに、職員の技術や知識の継承、職員の意識改革等を推進し、引き続き適材適所の人員配置を行いながら、適正な定員管理に努めていく。

【委員】

- ・パブリックコメントは意見をもらえなければ話にならない。努力をしていることはわかるが、どうしたら多くの方から意見がもらえるのか努力をしていただきたい。

【会長】

- ・それでは、議題に関して事務局から説明を求める。

〈事務局より説明〉

【委員】

- ・自立生活支援事業について、就労決定者数の推移を見ると、実績値において減少傾向がみられる。生活困窮者や生活保護受給者を自立に導くことは困難であると理解できるが、なお一層の努力を期待したい。
- ・空家等対策事業について、空家所有者等への啓発実績が5件となっているが、この啓発により課題の解決又は改善が図られたのか。
- ・公共交通機関推進事業について、デマンド交通は好評のようだが、指標と利用者数の実績値が大きく乖離しているので、指標の見直しを検討していただきたい。

【委員】

- ・地域福祉力の強化について、妥当であるという評価をしたが、社会福祉協議会事業推進費補助金の内訳を教えていただきたい。
- ・地域福祉セミナーの開催について、指標に対する実績値が令和6年度は非常に少ないが、何をもって非常に効果的と判断したのか。
- ・幼児期の運動遊び支援については、鬼ごっこなどを取り入れ、非常に効果的であったとあり、国スポでもデモンストレーションスポーツと

してスポーツ鬼ごっこが取り上げられており、更なる拡大をしていただきたい。

- ・地域包括支援センターの運営について、相談件数が年々減少しているが、非常に効果的であったと判断した理由を教えていただきたい。
- ・良好な都市景観の形成について、空家に関しての啓発は効果があったと判断しているが、通知を送付した結果、どういったことがあったのかをもって、効果を判断した方がいいのではないか。

【委員】

- ・宿泊型という産後ケア事業はどういったものか。
- ・第3子以降の学校給食費の無償化について、一定の要件を満たしている場合とあるが、一定の要件とは何か。
- ・子供のための教育・保育の充実で、浩養幼稚園と富里幼稚園の預かり保育の時間について、同じ市内で差があることはどうなの。
- ・地域包括支援センターの運営で、中部東の総合相談と見守り業務の実績値が多いが、職員が疲弊などしていないか。
- ・空家対策については、啓発だけに感じたので、これから取組に期待したい。

【委員】

- ・七栄北新木戸土地区画整理事業について、進捗率もあまり良くないのと、ある程度の骨格ができれば、民間に任せてもいいのではないか。

【事務局】

- ・御意見をいただいた事項については、次回審議会でお答えさせていただく。
- ・来年度以降の外部評価の方法については、委員に事業を選定していただき、担当課を呼んで話をきくなど、検討する。

4. その他

- ・事務局から、第3回行政改革推進審議会の日程について案内。
- ・委員から、外国人との共生のあり方について、次回の審議会で確認したい旨の申し出があった。

5. 閉会